

衛 生 費

4 衛生費 1 保健衛生費 1 保健衛生総務費

② 保健衛生事務費（健康推進課）

1 公衆衛生業務のための体制整備等

- (1) 保健師、栄養士活動に必要な各種研究会、研修会に参加した。
- (2) 各種予防接種や健診等のデータ管理のための総合保健福祉システムを運用した。

2 各種保健予防事業を遂行するに当たり、乙訓2市1町及び(一社)乙訓医師会、乙訓保健所等で構成する各種会議を開催した。

- (1) 乙訓2市1町と(一社)乙訓医師会保健・医療・福祉(介護)協議会 3回
- (2) 乙訓2市1町と(一社)乙訓医師会保健・医療・福祉(介護)協議会特定健康診査等小委員会 2回
- (3) 乙訓保健予防行政事務協議会 4回
- (4) 乙訓保健事業運営委員会 8回

③ 地域医療対策費（健康推進課）

乙訓休日応急診療所運営事業、在宅外科当番医制事業及び病院群輪番制病院運営事業により、休日及び救急時の医療を確保し、市民が安心できる医療体制の整備を図った。

1 乙訓休日応急診療所利用状況

(単位：人、%)

診療 日数 72日	合計	年齢別内訳			病類別内訳				居住地別内訳				
		0～ 5歳	6～ 15歳	16歳 以上	呼吸器	消化器	循環器	その他	向日市	長岡京市	大山崎町	京都市	その他
患者数	5,668	1,357	1,707	2,604	4,693	525	23	427	1,219	2,919	620	737	173
構成比	100	23.9	30.1	46.0	82.8	9.3	0.4	7.5	21.5	51.5	10.9	13.0	3.1

2 在宅外科当番医制事業利用状況

(単位：人)

診療 日数 72日	外科受 診者数	年齢別内訳				住所別内訳			二次後送 の人数
		0～ 6歳	7～ 15歳	16～ 64歳	65歳 以上	向日市	長岡京市	大山崎町	
患者数	357	48	63	123	123	102	223	32	3
1日平均	5.0	0.7	0.9	1.7	1.7	1.4	3.1	0.4	-

実施医療機関実数：27施設（診療所22、病院5）

実施医療機関延べ数：72施設（診療所22、病院50）

3 病院群輪番制病院運営事業利用状況

(単位：人)

居住地区分		入 院					入院 合計	外 来					外来 合計	総 計
		内科	小児科	外科	脳外科	その他		内科	小児科	外科	脳外科	その他		
乙訓	向日市	11	8	2	7	22	50	24	75	15	1	44	159	209
	長岡京市	20	6	1	3	11	41	28	47	15	5	25	120	161
	大山崎町	4	0	0	0	0	4	9	12	3	0	5	29	33
京都市		722	94	161	66	214	1,257	1,581	735	650	46	435	3,447	4,704
その他		85	11	27	26	37	186	173	76	80	16	84	429	615

④ 献血推進対策費（健康推進課）

1 移動献血車による献血運動

市内7会場において実施した。

実施日数	来所者数	採血者数	200ml 献血	400ml 献血
94 日	4,625 人	4,288 人	12 人	4,276 人

2 骨髄ドナー助成事業

骨髄等の提供を行った方に、入院や面談に要した日数に応じた助成を行う事業を実施したが、利用はなかった。

助成者数 0 人

⑤ 保健センター等管理運営費（健康推進課）

保健センターは、子育てセンター「すこやか」とファミリーサポートセンターが併設され、健康推進課と合わせて3部門が共用する多機能施設となっている。

	成人保健関係	母子保健関係	子育てセンター	ファミリーサポートセンター
事業開催回数	53 回	324 回	53 回	16 回
延べ参加者数	1,609 人	3,037 人	873 人	178 人
会議・研修会等の開催回数	1 回	8 回	76 回	32 回

4 衛生費 1 保健衛生費 2 予防費

① 感染症対策費（健康推進課）

1 定期予防接種

予防接種法に基づく定期予防接種を実施した。

A類予防接種：BCG、ロタウイルス感染症、B型肝炎、Hib感染症、

小児の肺炎球菌感染症、四種混合（ジフテリア、百日せき、ポリオ及び破傷風）、五種混合（ジフテリア、百日せき、ポリオ、破傷風及びHib感染症）、ジフテリア・破傷風、麻しん風しん混合、水痘、日本脳炎、ヒトパピローマウイルス感染症

B類予防接種：高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌感染症、高齢者新型コロナウイルス感染症、高齢者带状疱疹予防接種

(1) 集団接種

種 別	対 象	通 知 者 数	実施実人数	接 種 率
BCG	令和6年10月1日～ 令和7年9月30日生	317 人	307 人	96.8 %

(2) 個別接種

種 類	通 知 対 象 者 等	対象者数	接種者数	接 種 率
B C G	—	—	0 人	—
ロタウイルス 感染症	令和7年2月1日生～令和8年1月31日生	延べ928 人	803 人	86.5%
B型肝炎	令和7年2月1日生～令和8年1月31日生	1,113 人	970 人	87.2%
Hib感染症	令和7年2月1日生～令和8年1月31日生	延べ1484 人	22 人	1.5%
小児の肺炎球菌 感染症	令和7年2月1日生～令和8年1月31日生	延べ1484 人	1,319 人	88.9%
四種混合	令和7年2月1日生～令和8年1月31日生	延べ1484 人	91 人	6.1%
五種混合	令和7年2月1日生～令和8年1月31日生	延べ1484 人	1,309 人	88.2%
ジフテリア 破傷風	平成25年4月2日生～平成26年4月1日生	525 人	420 人	80.0%
麻しん風しん 第1期	令和6年6月1日生～令和7年5月31日生	347 人	317 人	91.4%
水 痘	令和6年6月1日生～令和7年5月31日生	延べ694 人	623 人	89.8%
麻しん風しん 第2期	平成31年4月2日生～令和2年4月1日生	514 人	498 人	96.9%
日本脳炎第1期	令和3年4月2日生～令和4年4月1日生	延べ1425 人	1,337 人	93.8%
日本脳炎第2期	平成27年4月2日生～平成28年4月1日生	540 人	500 人	92.6%
日本脳炎特例	新たな通知は行わなかった。(令和2年度最終通知)	— 人	0 人	—
ヒトパピローマ ウイルス感染症	平成9年4月2日～平成20年4月1日※1 平成24年4月2日～平成25年4月1日生	2,008 人 延べ1017 人	173 人 353 人	8.6% 34.7%
高齢者 インフルエンザ	65歳以上の方	15,175 人	※2 7540 人	49.6%
	60～64歳で身体障害者手帳内部疾患1級相当の方	24 人	6 人	
高齢者 肺炎球菌感染症	65歳の方	542 人	186 人	32.8%
	60～64歳で身体障害者手帳内部疾患1級相当の方	24 人	0 人	
高齢者 新型コロナウイルス感染症	65歳以上の方	15,175 人	1,118 人	7.3%
	60～64歳で身体障害者手帳内部疾患1級相当の方	24 人	1 人	
高齢者 带状疱疹ワクチン 予防接種	年度末年齢65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、100歳、100歳以上の方	3,057 人	※3 954 人	31.2%
	60～64歳で人免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり日常生活がほとんど不可能な方	0 人	0 人	

※1 ワクチンの積極的勧奨の差し控えにより、定期接種を逃した方(キャッチアップ対象者)で、令和4年～6年度に少なくとも1回接種している者。

※2 高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌感染症及び高齢者新型コロナウイルス感染症、高齢者带状疱疹ワクチンの接種者数は、依頼書による接種者数を含む。

※3 生ワクチンは1回接種、不活化ワクチンは1回接種を完了した実人員を計上した。

(3) 委託医療機関以外で接種する必要がある人の対応

平成25年度から長期里帰りなどにより委託医療機関で予防接種が受けられない場合に、個別に契約し、定期接種できるよう対応している。

4人(実人数)

24人(延べ人数)

(4) 長期療養が必要な特定疾病に係る特例措置

平成25年2月から長期療養が必要な特定疾病のために定期予防接種の機会を逸した人に対する定期予防接種を行っているが、接種者はなかった。

(5) 専門的予防接種・高度専門的予防接種

専門的な医学管理のもとで接種が必要な場合、京都済生会病院及び京都府公立大学法人京都府立医科大学附属病院で接種できるが、接種者はなかった。

2 風しん予防接種助成事業

先天性風しん症候群の発生を防止し、安心して妊娠・出産できる環境づくりを進めるために、風しん予防接種の接種費用の一部を助成した。

助成対象

妊娠を希望する女性で抗体検査等により抗体価が低い者又は抗体価が低い妊婦と同居している抗体価が低い者が、風しん又は麻しん風しんの予防接種を受けた場合

助成者数 39人（女性32人、男性7人）

3 予防接種費用助成事業

予防接種法による定期の予防接種を依頼書に基づき委託医療機関以外で接種をした場合に接種費用の一部を助成した。

助成者数 59人（高齢者予防接種59人、乳幼児予防接種0人）

4 骨髄移植等の医療行為に係る任意予防接種費用助成

骨髄移植等の医療行為により、接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断され、任意で再接種する20歳までの接種者に対し、経済的負担の軽減を目的とし、接種費用を助成した。

助成件数 1件

5 帯状疱疹ワクチン接種費用助成事業

帯状疱疹ワクチンを任意で接種した50歳以上の者に対し、経済的負担の軽減を目的として、接種費用の一部を助成した。

ワクチン種別	助成件数
不活化ワクチン	347 件
生ワクチン	44 件
合計	391 件

6 結核検診

65歳以上の市民を対象に定期健康診断として胸部エックス線検査（間接撮影）を肺がん検診と同時に市内8会場（4日間）で実施した。

実施回数	受診者数	要精検者数	精 検 結 果					未受診
			異常なし	結核	結核疑い	肺がん疑い	その他	
8回	548人	13人	5人	0人	0人	1人	7人	0人

4 衛生費 1 保健衛生費 3 成人保健費

① 成人保健事業費（健康推進課）

生活習慣病を予防するために各種健康診査を実施するとともに、がんを早期発見し早期治療に結びつけるために、各種がん検診を実施した。

1 健康診査事業

(1) 30歳代の健康診査

「自分の身体に適した生活習慣となっているか」を確認し、健診結果を活用して生涯にわたって自覚的に健康づくりが進められるよう、30歳代の市民を対象とした健康診査を、8月23日から10月4日までの間、個別医療機関において実施した。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長、体重、腹囲、BMI）、理学的検査、血圧・脈拍測定、検尿（蛋白、糖）、血液検査（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、AST、ALT、 γ -GTP、HDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、尿酸、クレアチニン、血糖、ヘモグロビンA1c、eGFR）

イ 受診者数 100人

(2) 健康増進法による健康診査

生活保護を受給されている方など特定健康診査を受ける機会がない市民に対して、7月1日から12月31日までの間、個別医療機関において健康診査を実施した。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長、体重、腹囲、BMI）、理学的検査、血圧測定、検尿（蛋白、糖）、血液検査（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、AST、ALT、 γ -GT、LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、尿酸、クレアチニン、血糖、ヘモグロビンA1c）、必要者には心電図

イ 受診状況

対象者	受診者数
生活保護受給者	75 人
国保異動者(国保会計負担)	37 人

(3) 長寿(後期高齢者)健康診査

後期高齢者医療対象者について、個別医療機関において、7月1日から12月31日までの間、健康診査を実施した。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長、体重、BMI）、理学的検査、血圧測定、検尿（蛋白、糖）、血液検査（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、AST、ALT、 γ -GT、LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、尿酸、クレアチニン、血糖、ヘモグロビンA1c）、心電図

イ 受診者数 4,151人

2 がん検診事業等

(1) 胃がん検診

ア 胃がんバリウム検診（集団方式）

胃部レントゲン撮影により、西暦で偶数年生まれの50歳以上の市民を対象に、保健センターにおいて2日間実施した。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	胃 が ん	他病	不明	
107人	104人	3人	2.8%	1人	0人	1人	0人	1人

イ 胃がん内視鏡検診（個別方式）

胃カメラ検査により、西暦で偶数年生まれの50歳以上の市民を対象に、医療機関において実施した。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果（生検含む）					精 検 未受診
				異常なし	胃がん	胃がんの疑い	他病	不明	
234人	217人	17人	7.3%	13人	0人	0人	1人	0人	3人

(2) 子宮がん検診

ア 子宮頸がん検診

西暦で偶数年生まれの20歳以上の女性を対象に、4月から翌年2月末までの11か月間、委託医療機関において実施した。（実績には無料クーポン検診の受診者も含む。）

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精 検 未受診
				異常なし	子宮頸がん	異形成	その他	不明	
1,148人	1,137人	11人	1.0%	0人	0人	0人	0人	0人	11人

イ 子宮がん無料クーポン検診

20歳の方を対象に「女性のためのがん検診手帳」と「無料クーポン券付き子宮頸がん検診受診票」を送付した。

通知対象者数	受診者数	受診率
309人	30人	9.7%

※受診者数はアに含む。

(3) 乳がん検診

40歳以上の西暦で偶数年生まれの女性を対象に、マンモグラフィ撮影（乳房専用レントゲン撮影）による検診を実施した。保健センターにおける集団方式は、4日間実施し、「自己検診法」の健康教育を同時に行った（実績及び検診日数には、がん検診推進事業も含む。）。管外受診制度（個別方式）は、京都府下委託医療機関において、9月1日から翌年2月28日まで実施した。

ア 集団方式

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果								精検未受診
				異常なし	乳がん	乳がんの疑い	線維腺腫	のう胞症	乳腺症	その他の疾患	判定不能	
448人	425人	22人	4.9%	5人	4人	0人	1人	5人	2人	0人	1人	4人

イ 管外受診制度（個別方式）

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果								精検未受診
				異常なし	乳がん	乳がんの疑い	線維腺腫	のう胞症	乳腺症	その他の疾患	判定不能	
303人	264人	39人	12.9%	9人	1人	0人	5人	9人	8人	0人	0人	7人

ウ 乳がん無料クーポン検診

40歳の方を対象に「女性のためのがん検診手帳」と「乳がん検診無料クーポン券」を送付した。

通知対象者数	受診者数	受診率
342 人	92 人	26.9 %

※受診者数はア及びイを含む。

(4) 肺がん検診

40歳以上の市民を対象に、結核検診と同時に市内 8 会場（4 日間）で実施した。また、65歳以上の受診者には同時に結核検診も行った。

受診者数	異常なし	経過観察	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精検 未受診
					異常なし	肺がん	肺がん の疑い	他 病	不 明	
709人	607人	86人	16人	2.3%	4人	0人	0人	12人	0人	0人

必要者には、喀痰細胞診検査も行った。

対象者数	受検者数
18人	17人

(5) 大腸がん検診

40歳以上の市民を対象に、問診及び便潜血検査（免疫便潜血二日法）による検診を実施した。

保健センターにおける集団方式は、胃がん検診、乳がん検診、肺がん検診（一部）と同時に5日間行った。

個別方式は、乙訓大腸がん検診委託医療機関において、7月1日から12月31日までの間実施した。

ア 集団方式

受診者数	便潜血陰性	要精検者数 (便潜血陽性)	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	大腸がん	他 病	不 明	
126 人	117 人	9 人	7.1 %	3 人	1 人	4 人	0 人	1 人

イ 個別方式

受診者数	便潜血陰性	要精検者数 (便潜血陽性)	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	大腸がん	他 病	不 明	
3,213 人	2,932 人	281 人	8.7 %	41 人	3 人	116 人	0 人	121 人

(6) 前立腺がん検診

55歳以上の男性を対象に、乙訓前立腺がん検診委託医療機関で、7月1日から12月31日までの間、PSA値測定（前立腺特異抗原検査）を実施した。

（ ）内は、向日市国民健康保険による保健事業として実施した再掲人数である。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精 検 未受診
				異常なし	がん	がんの疑い	肥大	他病	
1,779 人 (547人)	1,597 人	182 人	10.2 %	11 人	5 人	2 人	79 人	0 人	83 人

(7) 肝炎ウイルス検診

40歳の節目に当たる方を対象として、乙訓肝炎ウイルス検診委託医療機関で、7月1日から12月31日までの間、B型及びC型肝炎ウイルス検診を実施した。対象者に通知を行った。

	受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率
B 型	79 人	79 人	0 人	-
C 型	79 人	79 人	0 人	-

(8) 胃がんリスク検診

40歳代の方を対象として、乙訓胃がんリスク検診委託医療機関で、7月1日から12月31日までの間、ピロリ菌抗体検査及びペプシノゲン検査を実施した。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精検結果						精検未受診
				異常なし	胃がん	萎縮性胃炎	胃ポリープ	胃十二指腸潰瘍	その他	
151人	136人	15人	9.9%	2人	0人	7人	1人	1人	0人	4人

(9) 歯周疾患検診事業

定期的な歯科検診の機会を通じて歯、口腔の健康の保持増進を図ることを目的に、20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳の市民を対象に実施した。

	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	合計
受診者数	1人	3人	3人	5人	4人	4人	20人

3 健康教育

(1) ぽっこりおなか改善！フィットネス教室

各クール毎に内容をかえ、家庭でも継続して行える運動の基礎を学ぶ教室を実施した。

実施回数	参加実人員	延べ参加者数
10回	41人	132人

(2) 健康づくり出前講座

おおむね10人以上の向日市民で構成する団体やグループに保健師や管理栄養士が出向き、健康づくり講座を実施した。8種類のテーマから選択してもらい、各団体の希望に沿って行った。

実施団体数	延べ実施回数	延べ参加者数
7団体	12回	115人

(3) 歯のひろば

市民を対象に、京都府乙訓歯科医師会との共催で実施した。

ア 内 容 歯科医師による口腔内チェック、歯科衛生士による講話、体験コーナー（口臭チェック、咬合力テスト、口腔機能低下症チェック）、骨健康測定、血管年齢測定、健康教育（パネル展示）、減塩コーナー、食育コーナーを設けての啓発活動

イ 来所者数 192人

4 健康相談

(1) 健康診査結果相談会

特定健康診査等の受診後に、健診結果を活用した生活習慣改善を支援するため、保健センターにおいて、保健師、管理栄養士による個別相談を実施した。市が行う健診以外の受診者も対象とし、必要に応じてパンフレットを配布した。

実施回数	参加者数	栄養相談	健康相談
5回	14人	14人	14人

(2) 各種健（検）診等あらゆる機会を捉え、血圧測定、食事指導・生活指導等の健康相談を実施した。

実施回数	参加者数
15回	1,390人

5 訪問指導

保健師、管理栄養士が、がん検診や各種健診後の要指導者に対する家庭訪問指導を行った。

実人数：5人 延べ人数：5人

肺がん結核検診至急要精検者3人、各種健診後の要指導者2人

6 その他の健康づくり

(1) 健康ウォーキング事業

健康無関心層を含むより多くの市民が楽しく運動週間を継続できるよう、身近なスマートフォンを利用した健康アプリを令和6年10月から導入した。

登録者数：1,443人

(2) チャレンジウォーク

市民の自主的な健康づくりを応援するため、平成15年度から実施している。いつでも、誰でも気軽に始められるウォーキングに継続的に取り組めるよう「ウォーキングパスポート」を配布した。

ア 新規登録者：18人

イ 延べ認定者数：55人

7 がん患者のアピアランスケア支援事業（令和7年度主要事業）

がん患者の経済的負担を軽減するとともに、療養生活の質の向上を図ることを目的として見た目の変化をケアする医療用ウィッグ、乳房補正具の購入費用の一部助成を行った。

助成件数 19件

8 若年がん患者在宅療養支援事業（令和7年度主要事業）

若年末期のがん患者の方が、住み慣れた自宅で安心して療養生活を送ることができるよう在宅介護サービス利用料の一部助成を行う制度を立ち上げたが、利用はなかった。

4 衛生費 1 保健衛生費 4 母子保健費

① 母子保健事業費（健康推進課）

1 子育てコンシェルジュ推進事業

(1) 子育てコンシェルジュ

妊娠期から子育て期に渡るまでのワンストップ窓口として専任保健師を配置し、妊婦や転入児の保護者の面接・相談を行い、地域の子育て情報等の提供を行った。

また、支援の必要な妊婦に個別支援プランを作成し関係機関と連携しながら継続支援を行った。

	面接数	電話相談数
妊 婦	501 人	227 人
転入児（転入届出時）	136 人	0 人
その他の乳幼児	44 人	124 人

(2) 産前・産後サポート事業

ア 子育てパートナー派遣事業

子育てコンシェルジュの個別支援プランに基づき、支援の必要な妊産婦に助産師が電話相談・訪問指導を行った。

電 話 相 談	家 庭 訪 問
122 人	67 人

イ ままばばサロン

子育てコンシェルジュの個別支援プランに基づき、支援の必要な妊産婦に助産師が保健センターで集団指導や個別相談を行った。

実 施 回 数	参 加 妊 婦 数	配 偶 者 等
8 回	71 人	50 人

(3) 産後ケア事業

利用形態は、ショートステイ（宿泊型）・デイサービス（日帰り型）・アウトリーチ（訪問型）があり、産婦の体調管理と育児をサポートし、安心して子育てができるよう産科医療機関等で助産師が指導を行った。

利用者数（実人数）	ショートステイ（延べ）	デイサービス（延べ）	アウトリーチ（延べ）
57 人	149 日	27 日	25 日

(4) 子育て世代サポート事業

すくすく身体クリニック

配慮を必要とする子どもを支援し、保護者の不安や負担を軽減するために、小児科専門医の診察と保健師・栄養士による指導を行った。

実 施 回 数	参 加 者 数	参加者延べ人数
12 回	33 人	57 人

2 親子健康手帳（母子健康手帳）、妊婦健康診査公費負担受診券の交付及びマタニティマークの配布

(1) 親子健康手帳（母子健康手帳）交付件数 391人

(2) 妊婦健康診査公費負担受診券交付件数 421人（うち 転入30人）

3 妊婦健康診査

平成9年度から市が実施している。平成20年度から回数を5回に拡充、平成21年度からは14回に拡充するとともに委託先を京都府医師会だけでなく、大阪府医師会及び京都府助産師会にも拡大した

平成23年1月からH T L V－1抗体検査を、平成23年4月からクラミジア検査を追加した。

多胎妊婦健康診査支援事業として、令和2年度から多胎妊婦を対象に、基本健診6回分、追加健診3回分を追加した。

受診者実人数 596人

（単位：人）

	受診者数	健診結果			
		異常なし	要指導	要精検	要医療
基本健診（1～14回） 問診、診察、体重及び血圧測定、尿検査、保健指導	4,712	4,601	36	24	51
多胎妊婦基本健診（1～6回）	15	15	0	0	0
多胎妊婦追加健診（1～3回）	17	16	0	0	1
前期血液検査（貧血、血糖）	388	380	1	3	4
血液型	387				
中期血液検査（貧血、血糖）	367	335	1	3	28
後期血液検査（貧血）	320	292	3	0	25
血液検査（免疫検査）	388	387	1	0	0
B群溶血性レンサ球菌検査	322	314	0	0	8
H I V抗体価検査	386				
超音波検査（1～4回）	1,469	1,446	8	4	11
H T L V－1抗体検査	388	386	0	0	2
クラミジア検査	387	386	0	0	1

	受診者数	異常なし	要精検	他の疾患
子宮頸がん検査（細胞診）	383	381	2	0

○ 妊婦健康診査助成制度

委託医療機関以外の産婦人科で妊婦健康診査を受診した人に助成金を交付した。

助成人数 31人（実人数）

内訳 令和6年度健診分 延べ10人(10人)

令和7年度健診分 延べ26人(25人)

4 産婦健康診査

産後2週間頃、産後1か月頃の最大2回実施。

受診者数	異常なし	要指導	要医療	要精検
487	470	12	5	0

(1) 産婦健康診査助成制度

委託医療機関以外の産婦人科で産婦健康診査を受診した人に助成金を交付した。

助成人数 26人（延べ 26人）

5 新生児聴覚検査費用助成事業

新生児を対象に、新生児聴覚検査に要する費用の一部の助成を開始した。

検査の種類	AABR又はABR	OAE	合計
受診児数	224人	89人	313人

AABR:自動聴性脳幹反応検査 ABR:聴性脳幹反応検査 OAE:耳音響放射検査

(1) 新生児聴覚検査助成制度

委託医療機関以外で新生児聴覚検査を受診した人に助成金を交付した。

助成人数 22人

6 1か月児健康診査費用助成事業

1か月児を対象に、委託医療機関での健康診査を開始した。

受診児数 316人

(1) 1か月児健康診査費用助成制度

委託医療機関以外で1か月児健康診査を受診した人に助成金を交付した。

助成人数 24人

7 伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金事業

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てを行うことができるよう、面談による伴走型相談支援の充実を図るとともに、経済支援を行った。

(1) 伴走型相談支援

保健師・助産師等専門職により相談を行った。

電話相談	家庭訪問
108人	12人

(2) 経済的支援

ア プレママ応援給付金・プレママ応援ギフト

妊娠届出時、面談を実施した妊婦に5万円を支給した。

支給人数 404人

イ すくすく赤ちゃん応援給付金・すくすく赤ちゃん応援ギフト

2か月児訪問時、面談を実施した保護者に、新生児1人につき5万円を支給した。

支給人数 318人

8 乳幼児健康診査

		実施回数	対象児数	受診児数	健康診査結果		
					異常なし	要精検 要注意	未実施
乳児前期健康診査		12 回	322 人	320 人	205 人	115 人	
乳児後期健康診査		12	304	304	214	90	
1 歳 6 か 月 児 健 康 診 査	一 般	12	387	385	254	131	
	歯 科	12	387	385	382	3	0
3 歳 児 健 康 診 査	一 般	12	430	425	233	192	
	歯 科	12	430	425	333	87	5
	視 覚	12	430	425	363	62	0
	聴 覚	12	430	425	422	3	0

3歳児健康診査精密検査

項 目	精密検査対象者		受診者	受 診 結 果		
	人数	要精検率		異常なし	経過観察	要 治 療
耳 鼻 科	3人	0.7 %	1人	0人	0人	1人
眼 科	59	13.8	29	5	7	17
検 尿	10	2.4	4	3	0	1
発 達	29	6.8	16	2	14	0
その他の所見	3	0.7	1	0	0	1

9 健康教育

(1) ウェルカムBabyクラス

妊婦（配偶者等を含む。）を対象に、保健師、助産師、管理栄養士による教室を実施した。

実施回数	対象者数	受講者数	延べ受講者数
8回 (全2回、4クール)	421人 うち初妊婦214人	28人 受講率6.6%	57人 うち初妊婦 37人 うち配偶者 18人

※向日市食生活改善推進員協議会の協力を得て、具沢山味噌汁の試食を実施した。

(2) 離乳食教室

離乳食の必要性や実際の食べさせ方、進め方等について、講話と試食を実施した。

実施回数	対 象	対象者数	受講者数	受講率
12回	生後5か月児の保護者	323人	126人	39.0 %

(3) 歯の健康教室

2歳6か月児とその保護者を対象に、乳歯の虫歯予防だけでなく、歯と口腔の健康のために、歯科健診、ブラッシング指導に加えて栄養士による食生活指導を実施した。

ア 2歳6か月児歯の健康教室

実施回数	対象児数	来所児数	来所率	1回平均来所児数
3回	411人	102人	24.8%	34.0人

イ 歯科健診結果

虫歯保有者	虫歯保有率	総虫歯本数
0人	0%	0本

(4) ブックスタート

乳児後期健康診査時にブックスタートパック（絵本2冊、コットンバッグ、図書館や絵本、子育て支援情報等のリーフレット）を手渡すことと併せ、読み聞かせを実施した。

実施回数	配布者数	配布数
12回	304人	608冊

10 健康相談

(1) 健康相談、栄養相談

実施回数	来所児数			1回平均来所児数
	乳児	幼児	計	
16回	157人	114人	271人	16.9人

(2) 発達相談、ことばの相談

家庭訪問、健康診査、相談等から発見された児童の個別指導として実施した。

	相談回数	（来延べ人数）	（来実所人数）	相談結果			他機関への紹介				
				正常・改善	継続	他就学・機関・転出・関	療育機関へ	医療機関へ	発達支援専門クヘリ	ことばの相談	他機関紹介
発達相談	170回	282人	268人	26人	163人	79人	42人	5人	2人	2人	2人
ことばの相談	15回	35人	29人	1人	20人	8人	0人	1人	0人		

11 家庭訪問

保健師、助産師による乳幼児等の訪問指導を実施した。

家庭訪問数

(単位：人)

産 婦	新生児	乳幼児※
345人	14人	449人

※ 乳幼児家庭訪問数は以下の事業による訪問を含む。

- 里帰り訪問事業 延べ人 9人
- 乳児家庭全戸訪問事業 延べ人数 336人(双子3組)
(うち低出生児延べ人数 27人)

12 養育支援家庭訪問事業

養育支援の必要な家庭に対し、保健師・助産師、子ども家庭課の相談員等が家庭訪問を行い、養育に関する相談、指導、助言その他必要な支援を行った。

(単位：人)

	保健師・助産師		子ども家庭課 相談員等	
訪問数	131		202	
(内訳)	妊婦	24	乳幼児	80
	産婦・母	12	児 童	122
	乳幼児	95		

13 不妊治療助成事業

不妊治療の経済的負担を軽減するため、不妊治療費の助成を行った。令和4年4月から人工授精が保険適用となり、保険適用外の先進医療を助成対象として拡充した。

助成者数 134人(実人数)

内訳 一般不妊治療助成者数 延べ209人(うち先進医療による助成者数延べ82人)

不育症治療等助成者数 延べ4人

② 養育医療給付事業費(医療保険課)

1 支給対象

母子保健法第20条の規定により、身体の発育が未熟なまま出生し、医師が指定医療機関への入院養育が必要と認めた乳児に対し、入院医療費等の給付を行った。

延べ受給者数	延べ支給件数	支給総額
20人	35件	3,072,559円

4 衛生費 1 保健衛生費 5 健康増進施設費

① 健康増進施設管理運営費（地域福祉課・生涯学習課）

令和4年10月から令和8年3月末まで、（公財）向日市スポーツ文化協会を指定管理者に指定し、運営した。

指定管理料 : 35,000,000円

また、令和8年3月末に指定期間の満了を迎えることから、新たに令和8年4月から令和10年3月末までの2年間の指定管理期間として（公財）向日市スポーツ文化協会を指定管理者に選定した。

1 健康増進センター利用状況

(1) 利用者数（年間延べ利用者数）

利用者数（トレーニング室）	41,105 人
うち市内	29,592 人（72.0%）
利用者数（スタジオプログラム）	7,452 人
うち市内	5,159 人（69.2%）

(2) 営業日数 332 日

2 市民温水プール整備事業（令和7年度主要事業）

(1) 旧市民温水プール解体工事（令和6年度分含む）	69,942,400 円
(2) 新市民温水プール基本設計業務委託	10,395,000 円
(3) 新市民温水プール実施設計業務委託（令和8年度に繰越）	

4 衛生費 1 保健衛生費 6 環境衛生費

① 環境政策事業費（衛生環境課）

本市の総合的な環境施策の方向性等を示す第3次向日市環境基本計画に基づき、環境保全施策を推進した。

1 ごみゼロ・向日市一斉クリーン作戦

530（ごみゼロ）運動の一環として、市民や事業所、各種団体などと行政が一体となって地域の道路や公園等の清掃活動を実施するもの。

春 3,095人/85団体	もやすごみ 1.1t	泥 4.4t	合計 5.5t
秋 1,657人/64団体	もやすごみ 1.3t	泥 2.3t	合計 3.6t

2 生ごみ堆肥化容器購入費補助

生ごみ堆肥化容器を設置する家庭に対して、補助金の交付を行った。

年 度	7	6	5	4	3
補助世帯数	23 件	20 件	41 件	35 件	20 件
個 数	24 基	24 基	52 基	50 基	20 基
内 非電動式	4 基	13 基	38 基	40 基	5 基
内 電動式	20 基	11 基	14 基	10 基	15 基
補助金交付総額	207,200 円	143,600 円	229,300 円	190,000 円	161,200 円

3 狂犬病予防対策

狂犬病予防法に基づき、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施するもの。

(1) 狂犬病予防集合注射期間 令和7年4月15日～4月17日

(2) 集合注射頭数 199頭

(3) 予防注射総接種頭数 1,886頭

4 ふん害対策

(1) イエローチョークについて、ホームページで普及啓発するとともに、協力者にチョークを提供した。

年 度	7	6	5	4	3
チョーク本数	7 本	53 本	26 本	25 本	29 本
人 数	3 人	23 人	13 人	11 人	11 人

(2) マナーの向上を呼びかける看板の設置、配布等を行った。

年 度	7	6	5	4	3
看 板 枚 数	68 枚	105 枚	62 枚	64 枚	102 枚
人 数	33 人	49 人	30 人	33 人	48 人

5 蜂駆除用防護服の貸出支援

個人で蜂を駆除される場合に安全に作業を行っていただくため、蜂駆除用防護服を貸し出した。

(貸出件数 14件)

6 空き地雑草除去対策

空き地の管理について指導するとともに、環境美化の啓発等を推進した。

(指導件数 12件)

7 不法投棄等対策

(1) 分別ステーション利用マナーの向上のため、広報誌等での啓発を行った。

(2) 分別ステーション及び付近の巡回パトロールを実施した。

(3) 立看板の設置等による啓発を行った。

8 環境汚染の状況

(1) 公害苦情件数・推移

(単位：件)

種 別	7	6	5	4	3
大 気 汚 染	3	1	1	0	3
水 質 汚 濁	2	1	0	2	2
騒 音	16	10	7	2	6
振 動	0	4	2	0	4
悪 臭	5	5	5	6	6
そ の 他	29	17	9	16	24
計	55	38	24	26	45

※その他：動物のフン害や適正飼養に対する苦情など

(2) 光化学反応（光化学スモッグ）による大気汚染対策

ア 注意報発令時緊急体制期間 令和7年5月1日～9月30日

イ 注意報発令件数（乙訓地域） 1件 （令和7年7月2日・15時10分～17時40分）

9 関係法令及び府条例に基づく特定施設等届出状況

(1) 騒音関係

(単位：件)

種 別	年 度	7	6
騒音規制法に基づく特定建設作業実施届出数		47	32
騒音規制法に基づく特定施設設置事業所数		142	142
騒音規制法に基づく特定施設数		547	575
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設設置事業所数		142	142
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設数		1,069	1,066

(2) 振動関係

(単位：件)

種 別	年 度	7	6
振動規制法に基づく特定建設作業実施届出数		29	12
振動規制法に基づく特定施設設置事業所数		142	142
振動規制法に基づく特定施設数		466	495
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設設置事業所数		142	142
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設数		219	238

10 調査・測定の実施

(1) 騒音・振動調査

全ての調査地点において環境基準以下のため問題なし。

ア 環境騒音実態調査（24時間測定）

(ア) 一般地域（道路に面する地域以外の地域）

a 物集女公民館	令和7年11月11日～12日
b 寺戸コミュニティセンター	令和7年12月2日～3日
c 市役所本庁舎	令和7年11月20日～21日
d 鶏冠井公民館	令和7年11月6日～7日
e 上植野公民館	令和7年11月18日～19日
f 上植野町落堀集会所	令和7年11月13日～14日

(イ) 道路に面する地域（自動車騒音常時監視）

a 名神高速道路（伏見区・向日市境）	令和7年12月18日～19日
b 向日町停車場線（寺戸町久々相～寺戸町梅ノ木）	令和7年12月18日～19日
c 向日町停車場線（寺戸町久々相）	令和7年12月18日～19日

イ 新幹線鉄道騒音等監視測定

(ア) 森本町東ノ口（新幹線上り側）	令和7年12月5日
(イ) 森本町佃（新幹線下り側）	令和7年12月5日

(2) 大気調査

全ての調査地点において環境基準以下のため問題なし。

一酸化炭素、一酸化窒素、二酸化窒素濃度調査

ア 物集女交差点	令和7年7月24日
イ 蔵ノ町公園	令和7年7月25日
ウ 寺戸公民館	令和7年7月25日
エ 鶏冠井公民館	令和7年7月24日
オ 上植野公民館	令和7年7月25日
カ 上植野コミュニティセンター	令和7年7月24日

(3) 水質調査

一部の調査地点で環境基準をやや超過したが一時的なものであるため経緯観察。

公共水域調査（河川、用水路） 4 河川／5 地点

ア 寺戸川（深田川橋）	年 4 回調査
イ 石田川（前田地下道西側）	
ウ 石田川（西羽東師川合流地点）	
エ 和井川（J R 東海道線東側）	
オ 小井川（J R 東海道線西側）	
	第 1 回 令和 7 年 7 月 28 日
	第 2 回 令和 7 年 9 月 1 日
	第 3 回 令和 7 年 12 月 1 日
	第 4 回 令和 8 年 2 月 2 日

11 公衆浴場確保対策補助金

公衆浴場の経営の安定を図り、市民の保健衛生の向上及び増進を目的とし、市内 1 か所の公衆浴場に対し 9 万円の補助金を交付した。

12 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費等補助事業

人と猫との調和のとれた共生社会の実現をめざし、市民の動物愛護の意識啓発と、望まれない繁殖による不幸な猫を増やさないために、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術補助事業を行った。

年度		7	6	5
頭数	オス	20頭	16頭	22頭
	メス	24頭	32頭	39頭
	合計	44頭	48頭	61頭
補 助 金 額		218,000円	214,000円	281,000円

② ゼロカーボン推進費（ゼロカーボン推進課）

ゼロカーボン推進事業（令和 7 年度主要事業）

ゼロカーボンを推進するため以下の事業を行った。

1 むこう d e カボの学び舎

講座名	実施日／場所	参加人数
グリーンカーテン講習会	令和7年4月23日	44 名
	永守重信市民会館	
太陽光ってすごい！作って学ぼう！ソーラーレインボーハウス！	令和7年7月23日	21 名
	永守重信市民会館	
環境スタディ ～学校出張講座～ サントリー水育 未来に水を引き継ぐために	令和8年2月25日	40 名
	第6向陽小学校	

2 向日市環境推進会議の開催

第 3 次向日市環境基本計画の進捗に当たり幅広く意見を求めるため、向日市環境推進会議を開催した。

(1) 開催日：令和 7 年 7 月 1 8 日

(2) 内 容：第 3 次向日市環境基本計画進捗管理評価報告書について

3 ゼロカーボン推進補助金交付事業

(令和7年度から家庭向け自立型再生可能エネルギー等事業費補助金(従来補助)を統合)

太陽光発電設備、蓄電池、家庭用燃料電池及び高効率空調機器の設置に係る経費に対して、補助金の交付を行った。

(1) 太陽光発電設備 (家庭用)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
交付件数	37 件	40 件 (※)	37 件 (※)
交 付 額	8,156,000 円	5,412,000 円	5,294,000 円

(※) 延べ交付件数

(2) 太陽光発電設備 (事業所用)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
交付件数	1 件	1 件	0 件
交 付 額	2,500,000 円	3,550,000 円	0 円

(3) 蓄電池

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
交付件数	52 件	39 件 (※)	37 件 (※)
交 付 額	22,318,000 円	8,602,000 円	7,542,000 円

(※) 延べ交付件数

(4) 家庭用燃料電池 (エネファーム)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
交付件数	35 件	50 件	31 件
交 付 額	8,750,000 円	12,500,000 円	6,200,000 円

(5) 高効率空調機器 (エアコン)

	令和7年度	令和6年度
交付件数	208 件	50 件
交 付 額	5,463,000 円	1,759,000 円

4 公共施設脱炭素化事業

事業名	実施箇所	事業費
高効率照明機器導入事業(LED)	寺戸公民館	3,157,000 円
高効率空調機器整備事業	第5保育所	1,980,000 円
	第6保育所	

5 公共施設太陽光発電設備設置事業 (補助金交付事業)

実施箇所	交付額
第6向陽小学校	22,500,000 円
西ノ岡中学校	

4 衛生費 2 清掃費 1 清掃総務費

② 乙訓環境衛生組合費（衛生環境課）

乙訓環境衛生組合の運営経費について、人口割等に応じて2市1町で分担をした。

令和7年度分担金 488,671,000円

乙訓環境衛生組合賦課金徴収条例に基づく各市町分担金の算出方法

(1) 議会費の全額及び総務費の30% 均等割

(2) 総務費の70%及び建設費並びに施設運営に要する経費 人口割

4 衛生費 2 清掃費 2 塵芥処理費

① 塵芥収集費（衛生環境課）

ごみの収集は、可燃物を週2回、資源物（分別収集）を月2回、粗大ごみや不燃物を随時収集し、家庭から市民一人1日あたり約438gのごみが排出された。

（収集量：乙訓環境衛生組合統計、人口：令和7年10月1日現在55,915人）

1 令和7年度ごみ等収集量（乙訓環境衛生組合搬入分）

(1) 家庭ごみ

種 別	収 集 量 (t)
可 燃 物	8,022.73
分 別 収 集	777.70
不 燃 物	12.15
粗 大 ご み	134.17
合 計	8,946.75

(2) 事業系ごみ

種 別	収 集 量 (t)
可 燃 物	3,080.11
分 別 収 集	4.38
不 燃 物	0.00
粗 大 ご み	188.64
合 計	3,273.13

○有料ごみ

処 理 件 数	4,463
手 数 料 (円)	7,488,500

一般／事業系ごみ計 (1) + (2)	12,220 t
------------------------	----------

2 令和7年度分別収集内訳（乙訓環境衛生組合搬入分）

分 類	収 集 量 (t)	割 合 (%)
空 カ ン	71.93	9.22
空 ビ ン	192.37	24.66
そ の 他 不 燃	186.85	23.95
ペ ッ ト ボ ト ル	97.77	12.53
その他プラスチック	217.05	27.82
廃 乾 電 池	12.00	1.54
蛍 光 灯	2.17	0.28
合 計	780.14	100.00

3 ごみの減量と再資源化の推進

(1) 紙パッキリサイクル

ア 回 収 量 約1.1t

イ 回収場所 18か所（市役所、公民館、老人福祉センター等）

(2) 廃食油回収

回収用容器及びのぼり旗を市民団体に無償貸与し、市民活動を支援した。

ア 回 収 量 1,429リットル

イ 回収場所 12か所（4団体）

(3) 資源物の回収

市役所庁舎（資源物回収ステーション）、鶏冠井コミュニティセンター、北部防災拠点及び上植野コミュニティセンターで資源物の終日回収を実施した。また、市役所庁舎において廃食油の回収を実施した。

(単位：t)

種 別 \ 年 度	7	6	5	4
空 カ ン	18.36	18.02	15.44	14.38
空 ビ ン	46.80	43.24	38.45	33.43
ペ ッ ト ボ ト ル	26.95	24.81	20.40	17.26
古 紙	111.55	100.01	66.58	76.14
合 計	203.66	186.08	140.87	141.21

(単位：リットル)

種 別 \ 年 度	7	6	5	4
廃 食 油	2,385	2,135	1,930	1,740

(4) 再生利用量と再生利用率

分別収集、集団回収及び拠点回収で回収した資源物は、リサイクルするため、乙訓環境衛生組合又は民間事業者に引き渡した。

種 別 \ 年 度	7	6	5	4
再生利用量 (t)	1,513	1,520	1,354	1,007
再生利用率 (%)	11.5	11.5	10.1	7.5

(5) 小型家電回収

小型家電リサイクル法認定事業者と協定を結び、宅配便を用いた小型家電の回収（パソコンを含むと無料。ただし1箱のみ。）を実施し、リサイクルを推進した。

種 別 \ 年 度	7		6		5		4	
	台数	重さ(kg)	台数	重さ(kg)	台数	重さ(kg)	台数	重さ(kg)
パ ソ コ ン	349	1,563.7	316	1,418.7	343	1,539.5	341	1,529.5
携 帯 電 話	132	15.0	102	11.6	143	16.2	114	13.0
その他小型家電		1,743.9		1,283.9		1,709.7		2,477.8
合 計		3,322.6		2,714.2		3,265.4		4,020.3

4 古紙等回収推進事業

(1) 古紙等回収拠点

古紙や古着（古繊維）について、ごみの減量及び資源物の再資源化を促進するため、上植野浄水場内敷地を活用し、令和4年11月7日に古紙等回収拠点を開設した。

回収量

(単位：t)

種 別 \ 年 度	7	6	5
段 ボ ー ル	206.02	184.79	143.51
新 聞	59.99	55.15	44.08
雑 誌	137.14	134.01	116.37
古 着	91.48	94.03	74.07
合 計	494.63	467.98	378.03

※令和4年度は令和4年11月7日から令和5年3月31日までの回収量

(2) 古紙等集団回収助成金事業

ごみの減量及び資源の有効利用並びにリサイクル意識の向上を目的に、古紙や古着の回収を行っている自治会や子ども会などの団体に助成金を交付する事業を令和4年7月1日から実施した。

ア 登録団体数 41団体

イ 回収量

(単位：t)

種 別 \ 年 度	7	6	5
新 聞	128.23	138.77	115.07
雑 誌	55.22	54.57	42.98
段 ボ ー ル	51.35	44.03	31.73
紙 パ ッ ク	0.31	0.30	0.08
雑 が み	4.19	3.56	0.00
古 着	10.34	9.00	6.58
合 計	249.64	250.23	196.44

※令和4年度は令和4年7月から12月までの回収量

5 指定ごみ袋制度によるごみ減量の推移

ごみの減量や資源化を目的に「指定ごみ袋制度」を令和4年2月1日から開始した。

制度開始後、家庭から排出されるごみ量は減量傾向にある。

種 別 \ 年 度	7	6	5	4
も や す ご み	8,022.73 t	8,054.79 t	8,258.67 t	8,581.18 t
資 源 物	981.36 t	1,026.70 t	1,035.57 t	1,061.92 t
合 計	9,004.09 t	9,081.49 t	9,294.24 t	9,643.10 t
前 年 度 比	△ 0.85 %	△ 2.29 %	△ 3.62 %	△ 8.35 %

6 ごみの適正な出し方についての啓発

もやすごみや資源ごみ、粗大ごみの収集を円滑に行うため、ごみの出し方・分け方カレンダーを改訂し、全戸（約25,000戸）に配布するとともに、広報による啓発を実施し、マナーの向上に努めた。

また、定期的な巡回パトロールや啓発用立看板の設置を行った。

7 粗大ごみ受付システム・ごみ分別アプリ導入事業

パソコン、スマートフォン等のインターネット接続機器を活用し、広く市民の皆様に分かりやすいごみの出し方等の情報を提供する「ごみ分別アプリ」と、24時間365日インターネット上で粗大ごみの収集を申し込むことが可能で、キャッシュレス決済も可能な「粗大ごみ受付システム」を令和5年1月5日に導入した。

これらの導入により、市民の皆様のご利便性向上を図るとともに分別意識を高めていただくことで、ごみの減量や適正排出を促進した。

(1) 粗大ごみ受付システム

ア 利用件数 2,539件

(2) ごみ分別アプリ

ア ダウンロード数 7,043件（延べ件数）

8 食品ロス削減サービス導入事業

賞味・消費期限切れなどによる廃棄処分を防ぎたい小売店や飲食店等とそれらを購入し、食品ロスを減らしたい消費者を繋ぐマッチングサービスで小売店等がネット上に賞味・消費期限間近の商品を掲載し、消費者が予約・来店し、購入できるもの。

ごみ減量施策（食品ロス対策）として令和6年7月1日から試験的に導入した。

年 度	7	6
実 績		
登 録 者 数	1,768 人	1,565 人
利 用 率	3.2 %	2.9 %
協 力 店 数	26 店	18 店
出 品 数	259 品	200 品
うち取引成立数	178 品	181 品
削 減 量	48,373 g	65,656 g

4 衛生費 2 清掃費 3 し尿処理費

① し尿収集費（衛生環境課）

1 し尿くみとり（年間）

業務委託によりし尿を収集し、乙訓環境衛生組合の処理施設まで運搬した。

くみとり 戸数	人頭制		33 戸	くみとり家屋件数 35件
	計量制	一般家庭	1 か所	
		事業所	1 か所	
		仮設トイレ	43 か所	
くみとり量			118 kℓ	

※収集量：乙訓環境衛生組合統計による。

2 浄化槽（年間）

基 数	89 基
浄化槽汚泥収集量	164 kℓ

※収集量：乙訓環境衛生組合統計による。